

ごあいさつ



才能教育研究会会長
中嶋 嶺雄
(国際社会学者)

幼児教育とその素晴らしい成果

スズキ・メソッドは音楽を通じた幼児教育としていまや全世界に知られていますが、その成果の一端を才能教育研究会の「テン・チルドレン・コンサート」として多くの皆様にお聴きいただきたいと思えます。ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートの独奏やトリオの素晴らしい達成をご披露できることは、私たち才能教育研究会にとっても大きな意義をもつことであり、2010年度は福井、金沢、東京の三都市でコンサートが開催されます。テン・チルドレンに選ばれた生徒さんはもちろん優秀なお子様たちですが、才能教育研究会には、同じように優秀な生徒さんがどの支部にも大勢いるのです。「どの子も育つ 育て方ひとつ」をモットーにして才能教育運動を始められた鈴木鎮一先生の教えが活かしているからだといえましょう。

ところで戦後日本の懸案であった教育基本法は、去る2006年12月に約60年ぶりに改正され、その第11条には「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである」と明記されました。まさにスズキ・メソッドの先見性が教育の現場にも反映しつつあるとあってよいでしょう。

このような音楽を通じた幼児教育は、幼児期からの外国語教育、とくに英語の早期教育とも大きなつながりがあるのです。小学校への英語教育の導入も2011年度から実施されますので、この点でもスズキ・メソッドがさらに注目されるものと思われます。

テン・チルドレンの皆さん、本日は一日楽しく、そして立派な演奏を聴かせてくださいね。



才能教育研究会
芸術監督
豊田 耕兒

鈴木鎮一先生の教えに「どの子も育つ」というのがあり、これが先生の唱える才能教育の原則となっています。どの子も育つのですが、ただどの子も「同じ」ようには育たない。これも自然の法則で、その後に「育て方ひとつ」というのが付いています。育て方ひとつで子供はどんな風にも変わっていきます。

「人は環境の子なり」。先生、親、子供自身がお揃いで一つの方向に向いた時には、確かに想像を越える人並みはずれた結果が出ます。

「子供の能力には制限が無い」からで、これも鈴木鎮一先生の信条のひとつです。

さて、今日はそうした先生、親、子供自身の三拍子が揃った時の結果を見、聴きして頂きましょう。この結果は、ただ放って置いて出来たものではありません。

そこには雨の日も晴れの日もあり、寒さも暑さもあって、決して楽な毎日ではありませんでした。「急がず、休まず、諦めず」、鈴木鎮一先生の格言通り一步一步、愛情と忍耐を持って前進して来たのです。そして、このお子さん達は皆、音楽を通して心ある人間に育って来ました。自然界の大きな賜物です。これは、自然の法則なので「どの子にも」当てはまります。

皆さん、ご自分のお子さんも人間らしい人間に育てることを忘れないで頂きたい。お子さんの人生も一度しかないのですから。



森脇 恵厘花



菅野 美咲



北原 遼



森田 啓祐



河合 紘奈

スズキ チルドレン コンサート 2010

●開演13:30(開場13:00)



5/15 (土)

福井市

ハーモニーホールふくい
(小ホール)

5/16 (日)

金沢市

北國新聞 赤羽ホール

5/23 (日)

東京

国立オリンピック記念
青少年総合センター(大ホール)

東京会場では
「中嶋嶺雄会長のお話」
もあります。